

# お中元承り中です

## 新聞 及善蒲鉾店

7月15日(土)

【発行】  
株式会社  
及善商店  
【編集】  
及川善弥・沼倉忠彦

夏のご挨拶であるお中元。日本古来の先祖供養の風習が融合し、親類縁者などへお供え物を配る習慣ができたと言われています。その後感謝の気持ちを込めた贈り物へ変化。現代のように、上半期の区切りにお世話にな

った方に贈る習慣として定着しました▼梅雨明け宣言はまだないものの、連日真夏の南三陸。ここの南三陸より贈り物はいかがでしょうか。及善蒲鉾店では新工場より、食べて喜び、笑顔が広がる蒲鉾をお送りします。



秘伝・炙り笹セット 2,700円(税込)



潮風セット3,000円(税込)



新工場移転に伴い  
電話番号・FAX番号が  
変わりました。

電話：0226-46-2048  
FAX：0226-46-2038



◆南三陸志津川湾夏まつり  
福興市  
7月29日 土曜日  
南三陸町旧志津川仮設魚市場特設会場12時～21時



◆細倉ミュージックパラダイス2017  
7月16日 日曜日  
細倉マインパーク前会場  
10時～20時

### 催事予定

◆s a p bank fes 2017  
園風の草原  
7月28日・29日・30日



◆全国消防救助技術大会  
宮城県総合運動公園 グランドレイ・21  
8月23日(水曜日) 9時～16時30分



南三陸・海のビジターセンターHPより

## 南三陸海のビジターセンター

南三陸・海のビジターセンターは、平成28年11月にオープンした。三陸復興国立公園や周辺の自然の情報を発信し、自然とふれあう機会を提供している。地域の豊かな自然を守りながら、森・里・川・海のつながりが体験できるプログラムなどの事業を行なっている▼



7月7日笹かまの日イベントにて

及川善弥



## 志津川湾夏まつり福興市

7月29日土曜日。第70回目の南三陸福興市が、津川仮設魚市場周辺で開催される。南三陸町の一大イベントというだけでなく、毎年多くの人出で賑わう志津川湾夏まつり福興市。志津川仮設魚市場周辺で大人まで楽しめるイベントが立ち並び、クライマックスを飾る花火は、スターマインなど多彩な花火が夜空を彩り、志津川湾が鮮やかな光で染まる様は感動的。夏休みの思い出にぜひとも南三陸へ。

◆志津川湾夏まつり福興市  
7月29日 土曜日南三陸町旧仮設魚市場特設会場 12時～21時



## 今月のお魚 鱸(スズキ)

すすいだように身に白から鱸(スズキ)。北海道南部から九州までの沿岸にかけて分布し、海だけでなく、暖かい季節には河川を遡上するものもいる。スズキは成長と共に呼び名が変わる出世魚で、「ヒカリゴ」、「コッパ」、「セイゴ」、「ブッコ」、「そして60cmを超えるようなものを

かまぼこは魚のすり身からできている。すり身は魚の頭と内臓、骨、皮を取り除き、何度も水で洗い、血合いや水溶性の成分を取り除かれた状態になったもの。弊社は主にスケソウダラのすり身を使っている。すり身は主に2つのタンパク質からできている。これらのタンパク質はアクチンとミオシンとよばれ、動物の筋肉を構成している代表的なタンパク質で、水には溶けなく、塩に溶ける性質があることから塩溶性タンパク質とも呼ばれる。塩に溶けた両者はアクトミオシンというタンパク質に変性する。そうなった状態のすり身はベタベタと粘り気がでることから、肉のりとも呼ばれる。それらを成形し加熱することで弾力ある食感の蒲鉾になる▼最近よく感じることもある。一人だけの努力より、人と人との共感から生まれた構想力は、大きな動力と将来性を生み出すのではないかと▼タンパク質とタンパク質が塩で変性し日本の食の歴史を作ってきたように、人と人が化学変化を起こし新しいものを作り出すときに大事なものは何か。それは「縁」であると思ふ。

ひつじ